株式会社三洋堂ホールディングス

平成 24 年 11 月 9 日

各　　位

会　社　名　株式会社三洋堂ホールディングス
代表者名　代表取締役最高経営責任者兼最高執行役員　加藤　和裕
（ＪＡＳＤＡＱ　コード番号：３０５８）
問合せ先　取締役副社長上席執行役員社長室長　竹林　由夫
（ＴＥＬ：　０５２－８７１－３４３４）

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 24 年 5 月 15 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成 25 年 3 月期 第 2 四半期累計期間の連結業績予想数値の修正（平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	12,900	150	135	70	12.28
今回修正予想（B）	12,802	289	278	152	26.29
増減額　（B－A）	△97	139	143	82	－
増減率　（%）	△0.8	93.1	106.3	117.9	－
（ご参考）前期第 2 四半期実績（平成 24 年 3 月期第 2 四半期）	13,610	467	461	229	40.92

（修正の理由）

売上高は、主力の書店部門とセルＡＶ部門で当初厳しく見込んでいた予想を若干上回る見込となったものの、競合他社との低価格競争が継続しているレンタル部門や、昨年以来好調に推移している文具・雑貨・食品部門、ＴＶゲーム部門、古本部門では、当初の予想を下回る見込であります。以上の結果、全体では前回予想を 97 百万円下回る 128 億 2 百万円となる見込であります。

販売費及び一般管理費においては、照明設備の改修が下期にずれ込んだため修繕費が予想より 77 百万円減少となるほか、人件費が予想より 47 百万円下回る見込となるなど、その他経費削減の取組みの効果により、全体で予想より 1 億 69 百万円圧縮出来る見込となっております。

以上によって、営業利益は前回予想を 1 億 39 百万円上回る 2 億 89 百万円、経常利益は前回予想を 1 億 43 百万円上回る 2 億 78 百万円、四半期純利益は前回予想を 82 百万円上回る 1 億 52 百万円となる見込であります。

なお、通期の連結業績予想につきましては、主力部門である書店部門の売上が、上半期に引き続き下半期も当初の予想より厳しさが若干緩む見通しですが、他部門の売上は当初の予想を下回る見通しです。また、販売費及び一般管理費については、上半期から継続する光熱費を始めとする販管費削減の取組みの効果や人件費の減少を見込む一方、照明設備の改修時期が下期にずれ込

んだ影響による修繕費の増加を見込んでおります。
　以上のことを総合して、通期での売上高、営業利益、経常利益、当期純利益につきましては、平成24年5月15日に発表いたしました予想を据え置いております。

（注１）配当につきましては、平成24年5月15日に公表したとおり第2四半期末4円、期末4円50銭（年間8円50銭）とさせていただく予定であります。
（注２）上記の業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいております。従いまして、実際の業績は、今後様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

以上